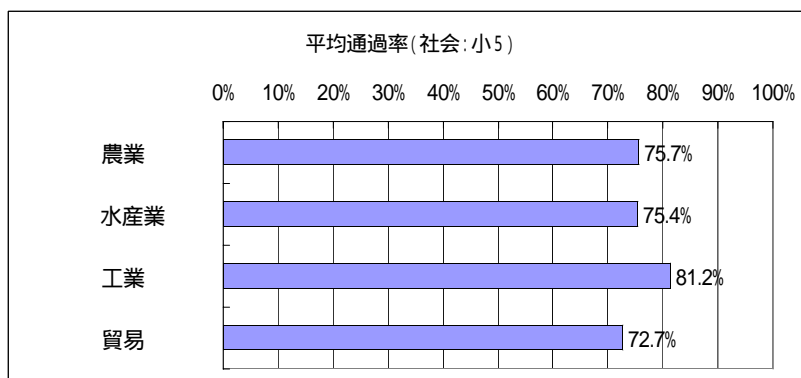


(2) 社会

ア 内容・領域別

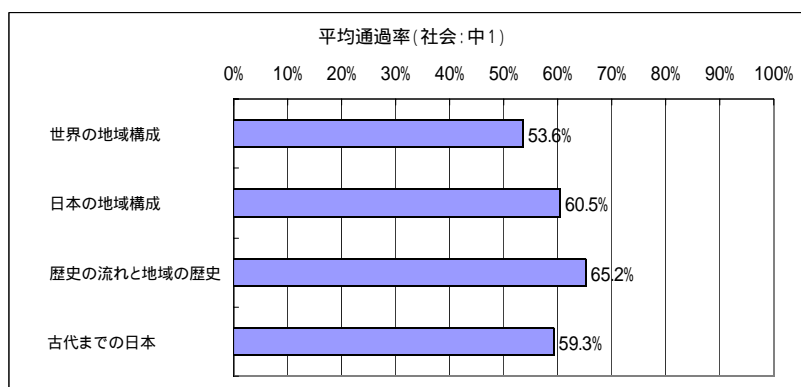
(ア) 小学校第5学年

内容・領域	平均通過率
農業	75.7%
水産業	75.4%
工業	81.2%
貿易	72.7%



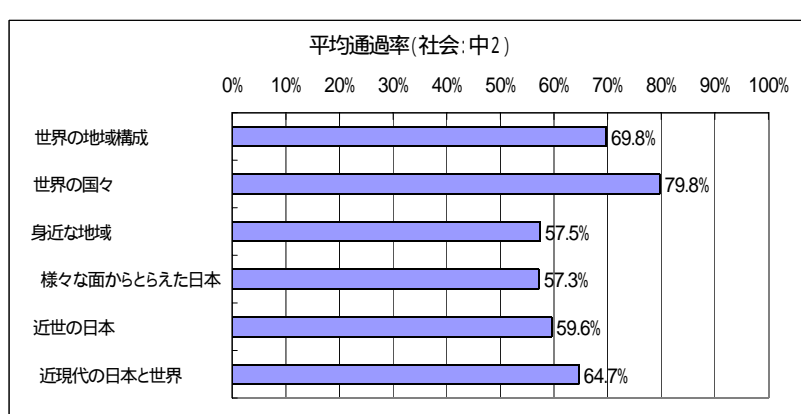
(イ) 中学校第1学年

内容・領域	平均通過率
世界の地域構成	53.6%
日本の地域構成	60.5%
歴史の流れと地域の歴史	65.2%
古代までの日本	59.3%



(ウ) 中学校第2学年

内容・領域	平均通過率
世界の地域構成	69.8%
世界の国々	79.8%
身近な地域	57.5%
様々な面からとらえた日本	57.3%
近世の日本	59.6%
近現代の日本と世界	64.7%



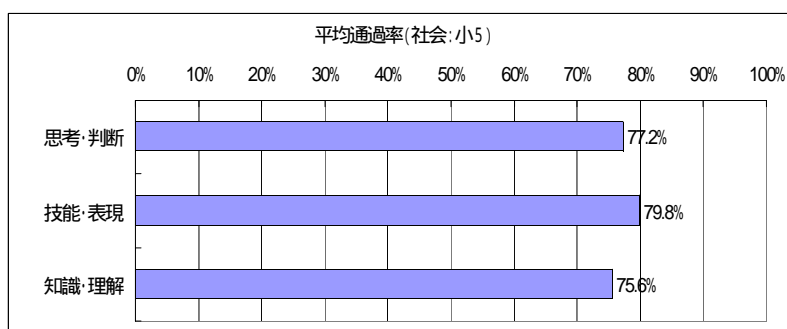
小学校は、全区分とも70%を超える平均通過率である。「貿易」については、他の内容と比べ若干低い平均通過率になっている。原材料の輸入先や製品の輸出先、主な輸送経路などについて、地図帳と貿易に関する資料などを関連付けて具体的に調べる学習を充実する必要がある。

中学校においては、地理的分野の第1学年「世界の地域構成」、第2学年「様々な面からとらえた日本」「身近な地域」が低い傾向にある。地球儀や各種の地図などをもとに、様々な地域の特色等を具体的にとらえさせる指導の工夫とともに、定着させるために繰り返して学習ができるように計画的に指導する必要がある。また、歴史的分野の第1学年「古代までの日本」、第2学年「近世の日本」が低い傾向にある。それぞれの時代の歴史的事象や用語を覚えるだけの学習でなく、事象の背景や時代の特色等と関連させてとらえさせる指導をさらに工夫する必要がある。

イ 観点別

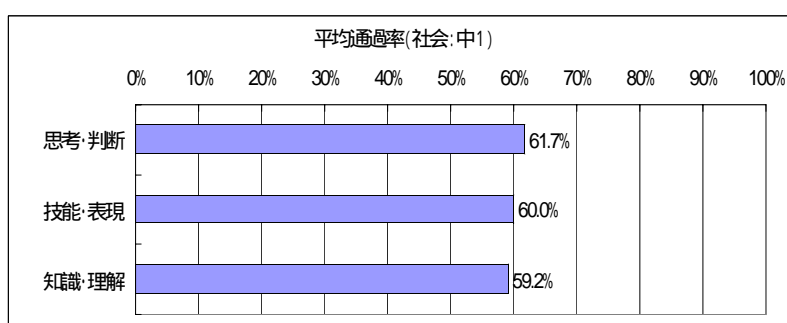
(ア) 小学校第5学年

観 点	平均通過率
思考・判断	77.2%
技能・表現	79.8%
知識・理解	75.6%



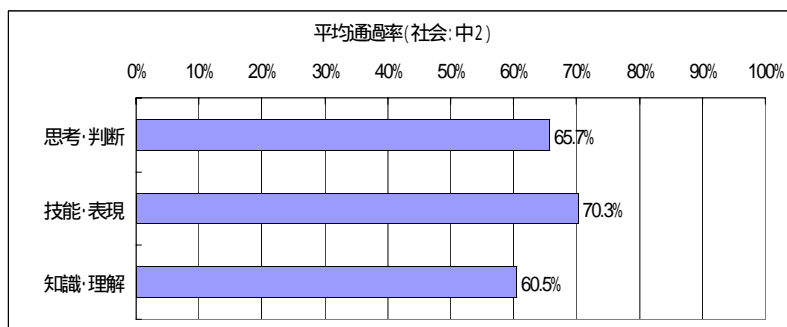
(イ) 中学校第1学年

観 点	平均通過率
思考・判断	61.7%
技能・表現	60.0%
知識・理解	59.2%



(ウ) 中学校第2学年

観 点	平均通過率
思考・判断	65.7%
技能・表現	70.3%
知識・理解	60.5%



小学校は、各観点ともに平均通過率が70%を超えており、観察・資料活用の技能・表現については80%近い平均通過率である。知識・理解の平均通過率が他の観点に比べ若干低い傾向にあるが、地図や統計、その他の基礎的資料を丹念に読み取ったり、内容と関連付けて活用したりする中で、知識の定着を確実に図る指導を工夫する必要がある。

中学校における知識・理解の平均通過率は、第1学年が約59%、第2学年が約61%であり、小学校と同じく他の観点に比べて低い傾向が見られる。知識を知識として単に暗記して身に付けさせるのではなく、可能な限り生徒の身近な生活と関連付けて地理的事象や歴史的事象を考えさせたり、地域の具体的な事象とかかわらせて地理的事象や歴史的事象を具体的に理解させる指導の改善が必要である。